

郡山市議会議員 2025年10月発行
ふるやま ゆい 会派リポート NO.9

れいわ新選組

発行責任者 / れいわ新選組
〒963-8601 郡山市朝日 1-23-7 (郡山市議会内)
TEL : 024-924-2505

ふるやまゆい
ホームページ



ふるやま ゆい
建設環境常任委員

080-1681-6618

xdmcj735@yahoo.co.jp

議会が新体制になりました！

議長・副議長の改選が行なわれ、常任委員会の委員も新たに
変わりました。常任委員会は4つの委員会で構成されています。
(6月定例会の条例改正をふまえ、今回名称及び所管部局が変更されています。)

今定例会から
新たな委員会体制となり、
れいわ新選組・ふるやま ゆいは
建設環境常任委員会所属と
なりました。

総務財政常任
委員会

市の組織、計画、財政、税金、
防災などに関すること。

建設環境常任
委員会

道路、公園、環境、上下水道など
に関すること。

生活福祉常任
委員会

協働、福祉、子育てなどに関すること。

文教経済常任
委員会

教育、スポーツ、農業、商工業など
に関すること。

9/3から10/1まで9月定例会・決算特別委員会が行なわれました

- ・ 予算議案17件
(一般会計、国民健康保険特別会計ほか)
- ・ 条例議案5件
(郡山市手数料条例の一部を改正する条例ほか)
- ・ その他議案4件
(工事請負契約の変更についてほか)
- ・ 請願4件
について審議が行われました。

請願
の
詳
細

- ・ 請願第24号：不安な未来を希望に変えるため、郡山市への制度
創設を求める請願書
- ・ 請願第25号：軍事予算削減と核兵器禁止条約の署名を求める
意見書提出の請願書
- ・ 請願第26号：「消費税率5%以下への減税を求める意見書」を政
府に送付することを求める請願書
- ・ 請願第27号：「適格請求書等保存方式(インボイス制度)の廃止を
求める意見書」を政府に送付することを求める請願書

賛否が分かれた議案等

賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。

件 名		議決結果	会派の賛否（議長を除く。）									
			志 翔 会	新 政 会	郡山市議会公明党	緑 風 会	自由民主党郡山市議団	日本共産党郡山市議団	立憲民主党郡山	無 所 属 の 会	立 憲 民 主 党	れ い わ 新 選 組
			10人	9人	4人※	4人	3人	2人	2人	1人	1人	1人
請 願	不安な未来を希望に変えるため、郡山市への制度創設を求める請願書	採 択	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○
	軍事予算削減と核兵器禁止条約の署名を求める意見書提出の請願書	不採択	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
	「消費税率5%以下への減税を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○
	「適格請求書等保存方式(インボイス制度)の廃止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○

※1名は欠席



1.月経に対する配慮について

「生理の貧困」とは

経済的な理由で生理用品を購入できない状況にある女性の健康や尊厳に関すること。

- ・「困難な問題を抱える女性への支援についてのアンケート」結果より(2024年度郡山市実施)：困難な問題を抱えると回答した女性：24.5%。その問題の内容として経済問題が51.4%と最多。

- Q 女性の市職員が生理休暇を取得しやすい環境とするため、現在行なっている取り組みは？
A 令和5年度に休暇の名称についてのアンケート調査を実施し、意見の多かった「ウェルネス休暇」を通称として本年2月に定め、全庁に通知した。今後も各種休暇を気兼ねなく取得できる職場環境の整備に努めていく。
- Q 「生理の貧困」から児童生徒を守るため、民間団体と教育委員会が連携した取り組みを行うべきでは？
A 教育委員会と郡山医師会、県助産師会等が連携し、外部講師による性に関する指導を実施し、学校だよりや保健だよりなどを通じ、性に関する指導内容を保護者へ周知し理解を深めている。
- Q 支援団体等による生理用品の小中学校・義務教育学校への配布学校数は？
A 市立学校全76校中・小学校15校、中学校1校
- Q 生理用品の配布は保健室では行なっているが、女子トイレ内で配布している学校数は？
A 小学校7校、中学校4校においては、生理用品を女子トイレに設置している。
- Q 児童生徒が「生理の貧困」等に苦しまず、安心して学校生活を送れるよう、全ての小中学校・義務教育学校の女子トイレに生理用品を配置すべきでは？
A 女子トイレに生理用品を配置している学校も含め、各学校において養護教諭が個別指導をしながら、一人一人に寄り添う対応をしており、女子トイレ内の配置については、それぞれの実情に応じて対応している。

2.男性の育児休業の支援について

育パパサポート奨励事業

中小企業に勤務し、育児休業を取得した男性従業員に対し奨励金を支給する事業
(令和7年度の奨励金は3万円/人)

- Q 「育パパサポート奨励事業」(令和6年度の奨励金は5万円/人)の令和6年度の補助件数は？
A 令和6年度の交付件数は28件。
- Q 令和6年度の本市男性職員の育児休業取得率は？
A 令和6年度において育児休業を取得した男性職員の割合は76.9%。
- Q 本市男性職員の育児休業取得率向上のため行なっている取り組みは？
A 令和3年度から所属長が出産・育児を行う職員と面談をし、男性職員の育児休業を含む子育て休暇制度の活用について適切な配慮に努めてきた。本年10月から本年6月の条例改正により、所属長が職員の子が3歳に到達する前においても面談を行うことになり、仕事と育児を両立できる職場づくりを更に進めていく。



3.バリアフリートイレについて

- Q 公共施設内のトイレについて、トイレに対し合理的配慮が必要と考えられる方々に直接意見聴取を行った上でのトイレの改修・新規設置を行い、どのような境遇の方にも利用しやすいバリアフリートイレにすべきでは？
A 郡山市公共施設等総合管理計画のユニバーサルデザイン化の推進方針に基づいて「公共施設等の改修や更新の際には、利用者のニーズに柔軟に対応できるよう、様々な利用者の視点を大切にされた整備に努める」としており、令和7年4月現在でオストメイト対応のバリアフリートイレを市内43か所に設置している。施設設備等では、障がい者団体からの意見を直接伺う機会を設け、令和5年度の開成山公園Park-PFI事業等に関する意見交換会を開催しており、今後も施設所管部局と連携しバリアフリートイレの整備に取り組んでいく。

4.おもいやり駐車場・車椅子使用者用駐車場について

- Q 混雑時など、より歩行が困難な方が優先的に利用できるよう、等級に基づいて駐車場利用証の色分けを行うなどの対策を県に対し提案すべきでは？
A 現在も個別に駐車スペースを確保するなど可能な範囲で対応しているが、おもいやり駐車場混雑時における利用者の声及び提案内容について福島県担当部局に伝える。
- Q 桃見台地域公民館の車椅子使用者用駐車場について、駐車枠の広さなどを定めた設置基準を満たすだけではなく、利用する方々の視点に立ち駐車枠の拡充をすべきでは？
A 駐車場利用状況や、利用者のご意見等を伺い、利用者の視点に立ち、限られた駐車枠の中で、安全かつ利用しやすい形状について検討し改善を図っていく。



桃見台地域公民館駐車場



5.性別によるアンコンシャス・バイアスについて

- Q 性別等によるアンコンシャス・バイアスの理解に向けた本市の取り組みは？
A 令和6年度実施「男女共同参画に関する市民意識調査」で、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という設問に対し「そう思う・どちらかといえばそう思う」の割合が女性9.2%、男性22.2%、「女性が仕事をもつのは良いが、家事・育児等と両立させるべき」という設問に対し「そう思う・どちらかといえばそう思う」の割合が全体で40.4%と、アンコンシャス・バイアスへの理解が十分に浸透していない状況である。理工系女子支援事業を開催し、女子児童、生徒、保護者に対し理工系進路選択への意識啓発を行うなど、アンコンシャス・バイアスの理解と解消に努めるなどしており、今後も、現在策定中の「第四次こおりやま男女共同参画プラン」に掲げる各種施策を積極的かつ継続的に展開することにより、固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスなどの解消を図り、性別にかかわらず個性と能力が十分に発揮できるまちづくりを進めていく。
- Q 本市の自殺死亡率の推移(人口10万人当たりの自殺者数)と性別、年代等の傾向は？
A 「郡山市いのちを支える行動計画」を策定した令和元年の自殺死亡率は14.5%で、コロナ禍の令和3年は19.3%に増加、令和5年に19.6%とピークを迎え、令和6年には18.4%と減少傾向ではある。男女別の内訳では男性の自殺者数が女性の約2倍となるなど、男性が大幅に上回っている。「地域自殺実態プロフィール2024」によると本市の傾向として男性では「60歳以上無職の方」、「20歳〜59歳で仕事をお持ちの方」、女性では「60歳以上無職の方」が多い状況にある。男性の主な自殺経路として、職場の人間関係などの悩み、女性では健康上の問題から、いずれもうつ状態になり自殺に繋がる傾向がある。
- Q 自殺死亡率を減らすために実施している対策は？
A 「郡山市いのちを支える行動計画」に基づき、包括的な支援に取り組んでいる。主な取組みとしてゲートキーパー養成研修や自殺予防講演会の開催地域の企業等関連機関と連携し、相談窓口の周知等、職域でのメンタルヘルス対策に努めた。今後も自殺の傾向を踏まえ、関係部局や地域の関係機関と連携しながらより効果的な自殺予防対策を推進していく。



6.はじめての防衛白書について

- Q 「はじめての防衛白書」の各市立小学校・義務教育学校での利用状況、配布されたことや内容についての各学校からの意見は？
A 「はじめての防衛白書」は、本市教育委員会を経由せず防衛省大臣官房広報課より直接福島県の小学校に1冊のみ送付された資料であり、各学校において授業等での利用はなく、本冊子に関する意見は報告されていない。

9/26〜10/1まで 決算特別委員会が行なわれました。

れいわ新選組としては28件の書類審査を行い、6事業の現地調査に参加しました。10/1に議案第136号令和6年度郡山市一般会計歳入歳出決算認定についてから、議案第164号令和6年度郡山市農業集落排水事業会計決算認定についての議案29件を認定しました。

現地調査

- ・放課後児童クラブ維持管理・施設整備事業
- ・ため池防災・減災事業
- ・石塚樋門・ポンプゲート整備事業
- ・男女共同参画センター長寿命化事業
- ・スポーツ施設リノベーション事業
- ・災害用備蓄品整備事業

ふるやま ゆいの主な動き

10月

- 1日 議会運営委員会、決算特別委員会、9月定例会閉会
- 2日 公共施設等に関する住民説明会
- 11日 こおりやま産業博
第40回安積南文化のつどい
- 18日 第57回安積地区市民文化祭
- 23日 市戦没者追悼式
- 24日 定例会長会、広聴広報委員会

11月

- 9日 郡山市議会議会報告会
- 21日 12月定例会招集告示、定例会長会、議会運営委員会
- 28日 12月定例会開会

12月

- 1〜2日 議案調査
- 3日 事務整理日
- 4〜5日 市政一般質問
- 8〜9日 市政一般質問
- 10〜11日 常任委員会
- 12日 事務整理日
- 15日 12月定例会閉会
- 25日 定例会長会
- 26日 仕事納め

